広域人事だより

＜第11号＞

（平成29年12月11日発行　北海道教育庁総務政策局教職員課人事企画Ｇ）

広域人事で異動された先生方から近況報告をいただいたので、御紹介させていただきます。

現任校	栗山町立栗山小学校（前任校）江別市立上江別小学校	氏名	山　元　　恵

〇地域・学校の様子

栗山町は,空知南部の町で農村地域に囲まれて,商店・官公庁・住宅が密集して市街地が形成されています。学校周辺には役場などの行政機関や公共・文化・福祉施設が多くあり,それらを活用しての学習や交流など,校外活動にも恵まれた環境にあります。本町は,「ふるさとは栗山です。」を合い言葉に身近な環境を生かした「ふるさと教育」として『雨煙別学校コカ・コーラ環境ハウス』を中心とした教育活動を展開しています。そのほかにも,栗山公園・ファーブルの森・ほたるの里・飼育観察室・ふれあいプラザ・ハサンベツ里山・スキー学習など多くの施設を活用し,四季を通して体験的な学習や活動を行っています。

本校は明治 31 年に創設された歴史ある学校で,現在４０６名の中規模校です。11 月 17 日（金）に地域連携指定校としての公開研究会を行いました。チーム栗小として,算数科を中心とした全学級公開の授業,そして全校児童で歌った「音楽フェスティバル」は,とても貴重な時間となりました。

〇現任校での勤務状況

広域人事 1 年目の今年度は,

・第５学年 1 組　担任
・校務分掌　　研究
・スクールバンド　サブ　　として活動しています。

栗山小学校は,様々な年齢で，一丸となって「チーム栗小」を合い言葉に和気あいあいとしている学校です。子どもたちも素直で学年の枠を超えて仲がよいです。

〇生活の状況

通勤時間が４０分くらいなので,以前とあまり変わりません。町内には,スーパーやコンビニなどがあり，食べ物屋さんもとてもおいしいです。

〇最後に

まだ 1 年たっていませんが,他の管内や地域を知り,自分の視野を広げることができ，本当に感謝しています。組織の運営の仕方や行事など，新たな発見が多く大変なこともありますが,「こういう方法もあるんだなあ。」と個性豊かであたたかい先生方に囲まれて,気持ちにゆとりをもって過ごしています。限られた時間を大切にし,「心豊かに　学び豊かに」の学校教育目標のもと，たくさんのことを学んで今後も精進していきたいと思います。

現任校	岩見沢市立明成中学校（前任校）平取町立平取中学校	氏名	小関　雅史

〇地域・学校の様子

本校は岩見沢市の東部丘陵地域の一角に位置しています。２つの大きな学校の校区と隣接しているため、学校選択制でそちらの学校に行く生徒もいます（距離の近さや入りたい部活動のため）。地域の人たちと一緒になってサマーフェスティバルやスノーフェスティバルといった行事を行うため、地域とのつながりが強く、日高管内にいる時と同じような学校です。全校生徒 178 名と日高管内でも多い学年２クラスの学校です。生徒会であいさつ運動に力を入れているため、廊下で教師と生徒、生徒と生徒があいさつする姿が当たり前のように見られます。

〇現任校での勤務状況

担当学年：1 学年担任　　分掌：豊かな心G（生徒会２）
部活動：野球部
教科：1 学年国語（2 クラス）・2 学年国語（2 クラス）

今年度は 27 名の 1 年生の担任をしています。前任校では 3 年生の担任をしていたこともあり、生徒のギャップに戸惑いながらも生徒たちと協力して学級づくりを進めています。学級内の係分担（生活班・係り班）などが違うので、隣のクラスの担任の先生や学年団の先生に助けてもらいながら毎日を過ごしています。

部活動は専門外の野球部を担当しています。スコアブックを記入したり、審判講習会で審判法を学んだりとまた新しい競技のスキルを学んでいます。しかし、指導できるかと言われるとまだまだ初心者ではありますので、これからも学んでいきたいと考えています。

〇生活の様子

量販店などが多く、不自由なく生活しています。これから冬になり、雪がたくさん降り大変であることを保護者や同僚などから聞いています。豪雪地帯での生活の経験がありませんので、これからどのくらい降るのかが不安です。

〇その他

本校は研修に力を入れており、「明成スタイル」を用いた授業展開ですべての先生が授業を行っています。視察なども多く、授業を参観される回数はとても多くなりました。先日、公開研究会を行い、道徳を公開しました。指導案検討では的確なアドバイスをいただけたりと勉強になることが多いです。

現任校	千歳市立北陽小学校　（前任校）岩内町立岩内東小学校	氏名	宮川　慶太

〇地域・学校の様子

千歳市は、人口が増え続けている地域であり、子どもの数も多い。平均年齢は全道で一番若いと言われている。街には公園がたくさんあるのも魅力の一つだ。

北陽小学校は全校児童が１４００人を超えており、子どもたちのパワーが溢れる学校である。教員の数も大変多いので、共通認識のもと組織的な学校経営がすすめられている学校である。特に運動会や学芸会は、児童数が多い分、細かな計画のもと実施されている。

〇現任校での勤務状況

４年生学級、39 名の児童の担任をしている。やはり人数の多さから教科指導や学級経営の面で難しさを感じる場面が多い。ただ、一人一人を大切にすることは忘れずに毎日の指導にあたっている。

また今年度の４年生は１～6 組まであるので、学年で統一した指導ができるように意識をしている。毎週火曜日には学年打ち合わせがあり、教科の進度や、指導の仕方の統一などを確認する。それぞれの教科の指導方法の交流ができ、大規模校ならではの有益な経験となっている。

校務分掌は保体部で運動会の進行や、スケート学習を担当している。運動会は低学年と高学年に分かれており、主に高学年に携わった。700 人近い児童に一斉に指示を出す経験は大変貴重であった。スケート学習も滞りがないように丁寧に計画を進めているところだ。

〇生活の状況

千歳市の教職員住宅を貸していただき、車を使って約１０分程度で通勤している。近くにはコンビニやショッピングセンターがあり、大変快適な生活を過ごしている。高速道路やＪＲの駅もすぐ近くにあるので、市外へ足をのばして休日を過ごすこともある。

現任校	千歳市立緑小学校　（前任校）倶知安町立倶知安小学校	氏名	相澤　勇佑

○地域の様子

千歳には、北海道の空の玄関である新千歳空港があります。商業施設や住環境が充実しているだけでなく、自然も豊かな住みやすい街です。人口も未だに増加傾向であり、この街が魅力的であることを物語っています。

緑小学校は、全校児童４４０人、学級数１４、今年度開校６０周年を迎えた歴史ある学校です。校内には、通級指導教室を併設しており、徒歩圏には市立図書館やスポーツセンターなどの諸施設があります。また、清流千歳川と森林豊かな青葉公園に隣接しており、教育環境・自然環境に恵まれた地域でもあります。その良さを生かすために、地域の人材を活用し、「千歳川カヌー学習」「アイヌ文化学習」「千歳科学技術大学の出前授業」など体験的な教育活動に積極的に取り組んでいます。教育目標に「なかよく元気に遊びます」「すすんで学び考えます」「めあてをもって努力します」「人や地球にやさしくします」を掲げ、教職員全員が力を合わせて教育活動をすすめています。

○現任校での勤務状況等　～「担当学年　3 年生」「校務分掌　保健体育部」　～

3 年 1 組、35 名の担任をさせていただいています。地域が違えば学校運営のシステムも違い、雰囲気も前任校とは大きく違うものがありました。また、30 名を超える子どもたちの担任をするのは初めてです。4 月は戸惑いや不安がたくさんありましたが、校長先生、教頭先生をはじめとする諸先生方からのサポートを頂き、6 月頃にはすっかり慣れることができました。今では、毎日の子どもの成長を喜びに変えながら、楽しく教育活動に邁進することができています。

校務分掌は保健体育部で、「清掃」「プール」「スケート」を担当しています。後志ではスキー文化が当たり前でしたが、こちらはスケート文化です。一度も体験したことのないスケート学習を、チーフとして計画を立てるのは難しいものがありました。しかし、こうした異文化に触れる中で自分の視野を広げる機会をいただけたことは、私の大きな財産です。管外異動をさせていただいたからこその体験でありました。

また、現任校には「学校を更に良くする」という想いを持った先生がたくさんいます。一緒に学年を組んでいる先生からは、子どもを伸ばすための具体的な方策を学んでいます。「子どもへのアプローチの仕方」「イベントの仕掛け方」「声かけの仕方」「成功体験の意図的な積み上げ方」など、毎日が学びのメモで溢れています。そして、校長先生には次年度を見据えながら学年運営をしていくことの大切さを教えていただきました。その際、私の力量不足により「あれども見えず」になってしまう部分も、解説してくださることで「見える」ようにしてくださいます。この学校に赴任し、自分の力量が伸びている感覚があります。緑小学校の一員として少しでも貢献できるように、さらに力をつけていこうと思っております。

○生活状況

千歳市から札幌への移動は、車で約５０分程です。さらに道南・道北・道東へ向かう特急列車の分岐点となる JR 南千歳駅もあり、移動に困ることはありません。また、大規模商業施設があるだけでなく、お店の数や種類も非常に充実しています。日常生活を送る上で不便を感じることはありません。また、私には 1 才になる子どもがいます。異動の際は、見知らぬ地域に行くことに不安がありましたが、子育て支援センターや公園、様々な種類の病院などの環境が充実していること、オムツ用のゴミ袋を配布してもらえるなど、子育て世代の家庭に非常にやさしい街で安心しました。

○その他

石狩には、石狩管内教育研究会（略称「石教研」）があります。管内すべての職員が一体となって研修を進めており、なによりも一人ひとりがしっかりと研修に参画し、教師としての力量を上げることができるシステムになっています。高い教育技術と最先端の知識を有している先生が多く、それゆえ研究会においても非常に高いレベルでの話し合いが展開されます。一人ひとりの教師力の高さは石教研の成果の表れであり、それがしっかり子どもに還元されているように感じます。この 3 年間で、学級経営のシステム、学校運営のシステム、さらには地域の研修システムなどを広く学び、後志教育の更なる発展のヒントを持ち帰り、実践できるように力をつけていきたいと思います。

現任校	恵庭市立恵み野中学校　（前任校）浦河町立浦河第一中学校	氏名	安孫子　瞬

○地域・学校の様子

恵庭市は『花のまち』と呼ばれるように美しい花々が町を彩る地域です。現任校が位置する恵み野地区の各家庭でも花を栽培する方が多く、さらには本校でも日々、花壇に関わる活動が盛んに行われています。

各学級の生徒会常任委員である「環境委員」を中心に全校生徒が花壇の土起こし作業に関わり、係活動としても日常的に水やりや草むしりを行うことで生徒の豊かな心は着実に育まれていると日々感じる毎日です。

また、学習に対する生徒の高い意識とともに部活動も盛んに行われており、各部活が石狩管内の頂点、さらには全道大会、全国大会への出場を目指して活動をしています。

日々の部活動に熱心に指導する先生方、懸命に汗を流す目の前の生徒には刺激を受ける毎日を送っています。

○勤務状況

現在、１年３組２８名の担任をしています。初めての地域、学校で自分に担任がつとまるのだろうか・・・不安ばかりの４月でしたが、支えて下さる先生方が本当に親切で、些細な疑問や悩みにも親身になって教えていただけたことで本当に助けられました。さらには日々の生徒の笑顔にも救われ、今、心から幸せで充実した毎日を送ることができています。校務分掌で担っている生徒会活動においては現在、新旧役員が入れ替わった中で学校生活をよりよいものにしようと生徒とともに日々奮闘中です。

部活動ではサッカー部の顧問となって、日々部員とともに汗を流している毎日です。今年度は保護者の支え、部員のひたむきな姿勢と闘う気持ちで、全道大会３位という功績を納めることができました。自分の教師人生の中でも忘れられない思い出と最高の経験ができました。日々の部活動に協力して頂いた保護者、自分の指導についてきてくれた部員には感謝しかありません。

○生活の状況

市内には大きなスーパーや飲食店、病院、各交通機関等、様々な施設が充実しており、生活の上で不便なことは何一つありません。充実した施設とともに『花のまち』恵庭は緑や花々に囲まれた美しい街並みとなっており、とても住みやすく、快適な日々を過ごしています。

○その他

地域の雰囲気、学校の規模、行事など違いは多くありますが、目の前の生徒たちの『笑顔』や『学びたい』という意識は同じだと感じています。学級、学年、部活動などの学校生活全てにおいて教師が熱意を持って指導した分、生徒たちがその期待に応えてくれることを感じている毎日です。３年間という短い期間ではありますが、自分にできることを全力で取り組み、多くのことを吸収し、経験の糧としながら日々研鑽に努めていきたいと思います。

現任校	登別市立幌別西小学校 （前任校）様似町立様似小学校	氏名	牧　桃太郎

〇地域・学校の様子

幌別西小学校は、海、山、温泉に囲まれた北海道有数の観光地である登別市にある学校です。全校生徒は３１２名と前任校の約２倍の児童が在籍しています。また、「コミュニティースクール」や「小中連携」など新学習指導要領に向けた取組を早くから行っています。「全国学力・学習状況調査」や「体力テスト」の結果を見ても成果が出ている学校ということが言えます。

〇勤務状況

【担任】３年生の担任をしています。前任校は単学級だったため学ぶことのできなかった横のつながりの大切さを、身をもって学ぶことができています。また、職員に様々なプロフェッショナルが在籍する本校では、授業研・運動会・学習発表会どれをとっても各学年が目を見張る教育活動が行われています。優れた実践に触れることを通して、自分自身の感性や教育力も磨かれていると思います。

【分掌】生徒指導部を担当しています。分掌の仕事に関しては校長の学校経営方針の１つである「西小プラスワン」（相手を意識してもう一歩工夫をする）という文化が根付いた職員と共に仕事をすることで、 相手を意識して資料を作成したり、提案をしたりする中で協働性や同僚性を意識した働き方を学んでいます。そのことが学級で子どもを指導する際にも生きています。

【研究】校内研修は、国語科の「書くこと」を対象に研究を行っています。どの学年の授業を見ても指導事項が積み重なっていて、当該学年で指導されるべきことがもれなく指導されているという印象を受けます。また、自分が校内研究だけでなく道徳の授業について学びたいと言えば、校長を始め道徳教育推進教師や教務主任が授業を参観し、的確なアドバイスを下さります。管理職やベテランの先生方のアドバイスにはいつも目から鱗が落ちます。初任からベテランまで様々な年齢層の先生が熱心に働く幌別西小学校で学べることは多いです。

〇生活の状況

前任校の時と比較すると、苫小牧や札幌など大都市までも近く、交通の便が良いことや夜遅くまでやっている店舗や飲食店も多いです。また、休日でも医療施設がやっていて、生活には便利な場所です。

現任校	えりも町立えりも小学校（前任校）深川市立一已小学校	氏名	本間　涼華

○地域・学校のようす

えりも町は人口 5000 人弱の小さな町ですが、意外に地域は広く、小学校が５校あります。

いちばん大きなえりも小学校は、児童数 170 名ほどで、学年１クラスです。職員は 20～３０代前半の先生がとても多く、みな熱意と向上心にあふれています。学校力向上のための加配があり、低・中・高学年にそれぞれ１名ずつ「副担任」が配置されていて、TT や習熟度別学習を充実させています。

○現在校の勤務状況

私は、前任校に引き続き、特別支援学級の担任をしています。特別支援学級は、保護者の方と子ども本人の願いを受け止めて、教師として何を教えるかを考えて実践するので、やりがいがあります。

また、特別支援コーディネーターとしては、支援を必要とする子どもについて先生方と協議して支援の方法を一緒に考えたり、必要に応じて外部機関や地元の保健師さんとつないだり、担任や保護者が「１人で抱え込まない」よう、ネットワークづくりをすることを意識して仕事をしています。コーディネーターとしての経験はこれまでになく、もう１人のコーディネーターの先生をはじめ周りの先生方の理解に支えられながら、日々勉強しています。

○生活の状況

新築３LDK の教員住宅を貸していただいて、快適に暮らしています。

町内にはコンビニやスーパー、ホームセンターがあり、日常的な生活についてはあまり不便を感じません。ただ、100 円ショップや大手の銀行に用事があるときには、近くても浦河町もしくは広尾町まで、車で片道１時間ほどかけて行かなくてはならないので、計画立てて買い物をしています。

えりも町の西にも東にも、魅力的な市町村がたくさんあり、休日の遠出も楽しみのひとつです。

○その他

「管外に出る」ということは、私にとっては新鮮な体験でした。新しい土地で、新しい人と出会い、新しい仕事をしていくのが、とても楽しいです。広域人事で赴任してきた以上は、このえりもでたくさんのことを吸収し、また、空知管内で学んだことをたくさん残していきたいと思っています。

現任校	日高町立厚賀小学校　（前任校）千歳市立信濃小学校	氏名	戸来　友美

◯地域の様子

日高町は、合併により山側の日高町と海側の門別町が合併した町です。また、日高管内は、サラブレットの生産地でもあります。美しい海と山、そして、広大な牧場がありステキな風景です。毎日、海に落ちてゆく夕日を見ることができます。

◯勤務校について

私の勤務する厚賀小学校は海側の漁港の町です。全校児童が６３名の小規模校です。先生たちが全校児童の名前と特徴を把握し、職員全員で子供達を見つめています。

子供達は学年をまたいで仲良く遊び、人間関係が温かな感じがしました。もしトラブルが起きてしまっても、解決できる土壌が育っていると思います。また、保護者の方々も子供達全員を自分の子のように思ってくれ、行事でも力強い応援団です。

◯現任校での勤務

広域人事１年目の今年度、５年生１１名の担任をしています。前任校の３分の１の人数です。子供達一人一人が本当によく見えます。その子その子にあった課題のための手立てをとることができます。人数の多い学級を持つときには「集団づくり」を大切にしていましたが、今年度は、１１名の実態から「自分を表現すること」と「学力を向上させること」を重点的な課題として、取り組みを重ねています。

わからないことは、すぐに他の先生に質問します。厚賀小学校の職員のみなさんは、親切に教えてくれます。「聞ける職場」であることがとてもありがたいです。

◯生活について

学校から少し離れた所に住んでいますが、買い物も便利で生活のしやすい地域です。保護者の方のお話だと、雪も少ないということです。不安はありませんが、不安を探すとすれば地震の頻度が高いことでしょうか。

◯最後に

広域人事として「派遣」されていることを常に念頭に置いて、この地でできることに取り組んでいきたいです。まずは目の前の子供達、そして、日高の若手の先生のためにできることを模索しながら、行動していきたいと思います。

現任校	日高町立富川小学校（前任校）北広島市立大曲小学校	氏名	三尾　修士

〇地域・学校の様子

日高町は、日高地方の北西部及び北部に位置しています。平成 18 年に旧日高町と旧門別町が合併して誕生した町であり、地理的には飛び地となっています。勤務校のある旧門別町地区では、軽種馬業や農業などが盛んで地域の特色となっています。

開校 140 年あまりの歴史と伝統を有する富川小学校は、沙流川の河口、国道 235 号線と 237 号線の分岐点に位置しています。校区が広く、スクールバスに加えて自転車通学などの割合も多いです。そのため、昭和 63 年には交通安全宣言を制定し、以降交通安全への取組を継続し、本校教育活動の特色となっています。

児童数は 320 人ほどで、日高管内で２番目の規模を有する学校です。６年生を中心とした縦割り班活動や、児童会活動が盛んに進められています。

〇現任校での勤務状況

広域人事１年目の今年度は、

・５年１組担任

・校務分掌は教務部　道徳教育推進教師

５年生は２学級あり、１・２組ともに 30 名ずつの学年です。久し振りの高学年担任で、教材準備に追われる毎日を過ごしています。元気いっぱいの学年ですが、高学年としての自立をめざし、学習発表会や社会科見学などを実行委員会形式で進めたり、放課後の補習勉強を分担して行ったりするなど、学年間で協力した取り組みを進めています。

道徳教育推進教師として、次年度に向けた道徳の授業や評価についての研修を担当し、共通理解を図っています。自分自身のスキルアップとしても、校内の道徳の授業研と、町内の教育研究協議会の道徳部会の授業研をさせてもらいました。

ベテランの先生方の多い学校なので、いろいろな実践を参考にさせていただきながら、今後も研鑽を積んでいきたいと思っています。

〇生活の状況

町内にはスーパーやコンビニなどがあり、生活に不便はありません。日高道富川ＩＣが間近にあり、苫小牧や千歳まで １ 時間かからない距離なので、週末などに出かけることがあります。牧場の美しい景色が広がり、仔馬が駆け回る春先の風景には心癒されます。門別競馬場もあり、馬好きの方には最高だと思います。

地震の多い地方なので、災害に対する意識をしっかりもっておかないといけない土地でもあると思います。

現任校	七飯町立七重小学校　（前任校）厚沢部町立厚沢部小学校	氏名	松居　裕子

〇地域・学校の様子

七飯町は渡島半島の南部に位置し、函館市から七飯町中心部まで車で 30 分ほどの距離にあります。北海道新幹線が開業し、新函館北斗駅からも近く、公共交通機関が充実しています。日本新三景「大沼国定公園」、日本の道百選「赤松街道」など観光地が点在する自然豊かな町で、りんごの町としても有名です。

私が勤める七飯町立七重小学校は、全校生徒 520 名で学級数 22(特別支援学級 4 を含む)の学校です。明るく素直な子どもたちが多く、毎日元気な挨拶が聞こえます。「わかる・できる・楽しい」を子どもたちみんなが実感できる学校、子どもたちにとって学びがいのある学校を目指しています。

〇新任校での勤務状況など

特別支援学級の 3 名の児童を担当しています。特別支援学級は 6 名の教員で担当しており、困ったときにはすぐに相談させてもらえる環境です。児童との関わり方や、実態に合わせた授業づくりの難しさを感じていますが、アドバイスを多くいただき、勉強の日々を過ごしています。子どもたちの成長を間近で感じることができ、嬉しく思っています。

〇生活の状況

通勤は車で 10 分ほどで、隣接する小中学校の児童生徒が登下校する姿を見ながらの道のりです。町内の子どもたちの多さに驚きながらも、毎日新鮮な気持ちで通勤しています。季節ごとの景色もきれいな、素敵な町並みなので、通勤時間も楽しく過ごしています。

町内には大型のスーパーやドラッグストアなどが揃っているので、買い物等で不便を感じることはありません。

〇その他

大規模校での勤務が初めてでしたので不安がありました。日々、目の前の仕事に向き合うことが精一杯の状況ですが、たくさんの子どもたちから元気なパワーをもらいながら、充実した学校生活を送っています。健康上の理由から、１カ月ほどお休みをいただきました。ご迷惑をおかけしましたが、周りの先生方の温かい心遣いをいただきながら過ごすことができ、感謝しています。他管への異動ということで、戸惑うことが多くありましたが、新たな発見が多く、自身が成長できる機会がたくさんあると感じています。広域人事という機会をいただけたことに感謝し、より多くのことを吸収していきたいと思います。

現任校	旭川市立永山西小学校　（前任校）留萌市立東光小学校	氏名	髙島　光

〇地域・学校の様子

旭川市立永山西小学校は，全校児童６７４名という大規模な学校です。旭川駅から１０㎞のところにあり，周りには商業施設もたくさんある場所に位置しています。

〇勤務状況

〈学級〉

現在２年４組３１名の担任をしています。元気いっぱいの子どもたちと過ごす毎日は，楽しいことはもちろん，子どもたちから学ぶこともたくさんあります。特に，採用５年目の今年は，学ぶ姿勢だけでなく，これまで経験してきたことを生かすことにも力を入れており，日々，子どもたちとの対話を大切にしながら進めています。子どもたちの「頑張りたい！」「成長したい！」とする力が十分に発揮されるよう，子どもたちの気持ちを大切にした指導を目指して日々勉強中です。

学年は４クラスあります。学年や特別支援の先生方，学年に関わって下さる先生方のお力を借りながら，よりよい指導に向け勉強させていただいています。学級数が多いため戸惑うこともありましたが，子どもの様子や指導方針などを共有していくことで，学級数が多くても同じ目標に向かって指導していけることが分かってきました。今後も先生方との会話を大切にしながら指導を進めていきたいと思っています。

〈少年団〉

少年団活動では吹奏楽部の指導に携わっています。前任校でも部活として吹奏楽部の指導をしていましたが，こちらの学校は６１名という大所帯。どのように子どもたちと関わっていけばよいのか，自分には何ができるのか，悩むことがたくさんありました。しかし，顧問の先生の素晴らしい指導を見たり，自分自身にも指揮法の指導をしてくださったりなどすることで，音楽を通して子どもたちとの距離も近くなってきました。この経験は，学級指導にも生きてくる部分もたくさんありますので，指導のレベルアップに向け頑張っていきたいです。

〇その他

今年度は，市教研の音楽部に所属し，様々な経緯から研究授業をさせていただくことになりました。他管内から来た私にとって分からないこともありましたが，先生方の優しいアドバイスを受け，これまで知らなかった知識や指導技術を教えていただきました。勉強できる場がたくさんあることが，上川管内に来て最も嬉しいことです。今後も自分自身の成長に向け，しっかりと勉強して戻りたいと思います。

現任校	旭川市立春光台中学校　（前任校）利尻町立仙法志中学校	氏名	加賀澤　星

○地域・学校の様子

旭川市は北海道・上川地方のほぼ中央に位置しています。旭山動物園や北のめぐみ食べマルシェなどが有名で訪れる観光客が多く，また，ゆかりのある文学者や芸術家の多い都市でもあります。

私が勤務する春光台中学校は全校生徒３０３名，学級数１３（特別支援学級４を含む）の学校です。旭川市内の北部に位置しており，住宅地でありながら大きな公園が多く自然あふれる地域にあります。福祉関連の施設も多く，施設訪問活動なども行われています。

○勤務状況

担当学年：３学年副担任・特別支援知的学級担任
教　　科：２学年国語（１クラス）・特別支援学級指導
校務分掌：生徒指導部　生徒会係
部 活 動：女子バドミントン部

３学年に所属しながら特別支援の知的学級１クラスを担任しています。初めての特別支援学級ということで不安も大きかったですが，元気が良く素直な子どもたちや経験豊富な先生方の支えにより，毎日勉強させていただいています。指導方法に悩むこともありますが，日々成長する子どもの姿を傍らで見られるので，とてもやりがいを感じています。

また，国語の授業も通常学級で１クラス担当しています。これまでと違い人数が多い中での授業は，全体と個への指導のバランスの難しさを感じることもありますが，グループ活動を取り入れたり授業形態を工夫したりできるところにおもしろさも感じています。国語科の教科担任が複数いるので，意見交換をしたり相談したりしながら教材研究が出来ることも大きな学びです。

校務分掌では，分掌部会による情報共有の大切さを実感しています。生徒会係では，全校集会や各行事など，生徒が主体となって活動できるよう担当教員でサポートをしながら進めています。

○生活の状況

スーパーや書店，ホームセンターなどが充実しているため必要なものを必要なときに用意することができるので不自由していません。また，図書館や資料館などの公共施設も充実しているので，休日には足をのばしてリフレッシュすることができています。

○最後に

初めての異動で管外異動，そして前任校とは違う大規模校での勤務は不安と戸惑いが大きく，慣れるまで時間がかかりました。しかし，「大規模校で学びたい」という思いを形にしてくださった方々への感謝の気持ちを表すためにも，『積極性』を大事にして一日一日を過ごしていこうと決めました。自分から積極的に聞き，動き，学ぶこと。この地で学べることは何でも吸収し，教師として，そして人間として成長していきたいと思います。

現任校	旭川市立神居小学校　　（前任校）幌延町立幌延小学校	氏名	秋葉　雄太

○地域・学校の様子

神居小学校は，明治 30 年に開校した長い歴史と伝統がある学校です。今年，開校 120 周年を迎え，11 月には開校 120 周年記念式典が盛大に行われました。

昭和 30 年ごろから住宅地として急速に発展し，一時は全道一のマンモス校にもなりましたが，近隣校の開校，通学区域の調整などもあり，現在は全校児童 335 名で，各学年２学級，特別支援学級６学級の規模となっています。

PTA 活動で特筆されるのは，役員全員と賛同者で構成される「見守りたい」で，登下校，放課後の児童の安全を見守ります。

少年団活動は，女子バレーボール，野球，クロスカントリースキー，吹奏楽があり，実績を残しています。放課後には熱心に練習に励む，子どもたちの声が聞こえます。

○現任校での勤務状況

【学級について】

１年１組 27 名（うち２名特別支援学級在籍）を担任しています。小学校生活のスタートとして，今後に向けたルール作りや学習における基礎・基本の定着を目指して，日々指導をしています。

児童が多い分，一人一人に目が届きにくくなることがあるので，学習では，早く課題を終えた児童に発展課題を用意する他，ペア，グループ活動を取り入れ，児童同士が共同学習を行うなど学習形態を工夫しています。

また，普段から子どもたちとの会話を大切にしたり，休み時間に一緒に遊んだりしながら，よりよい関係づくりや実態把握に努めています。家庭の協力もあり，子どもたちは毎日元気に学校生活を送っています。

【学校について】

前任校に比べて学校規模が大きく，全校児童の数，先生方の数が増えたことが大きな違いです。学年では，隣の学級と学習の進度や内容を揃えたり，行事で合同で活動したりするため，見通しをもった計画や指導が必要となります。これまで単学級の経験しかなかったので，チームで指導にあたることの重要性を改めて感じながら過ごしています。

各学級の研究授業をはじめとした校内研修の他，日頃から経験豊富な先生方の幅広い知識や技術に触れることで，学級経営や教科指導など大変多くのことを学んでいます。

○生活の状況・その他

大規模商業施設が多く，お店の数や種類も充実しています。生活するにあたっての不便はありません。教材・教具の準備もしやすくなりました。

市内に学校が多く，公開研究会や各種研修が多く開催されます。学校外でも多くの先生方の優れた実践に触れる機会が増えました。また道内各地へのアクセスがよく，札幌など都市間の移動がスムーズになり，市外で行われる研修などにも行きやすくなりました。

現任校	旭川市立愛宕中学校　（前任校）網走市立第二中学校	氏名	武井　翔

〇地域・学校の様子

北海道第２位の人口を誇る大都市旭川。国道や高速道路、ＪＲ、空港など、交通の便に恵まれた都市で、道内物流の拠点となっています。また、旭山動物園などの観光名所があり、道内有数の観光都市でもあります。

勤務校である旭川市立愛宕中学校は、市内の住宅街である豊岡地区に位置しています。落ち着いた雰囲気の学校で、挨拶運動に力を入れています。全校生徒は約５００人。前任校の２．５倍ほどの生徒が学校に通っています。

〇勤務状況

現在２年生の国語を担当。校務分掌は研修。部活動はバドミントン部を担当しています。勤務を通して感じたことを報告します。

①宿泊研修

２年生の大きな行事である宿泊研修。生徒だけでなく、学年の職員も人数が多いので、役割を細かく分担して宿泊研修の準備にあたります。

職員が多い分、打ち合わせの数も多くなります。その打ち合わせの中で、先輩教員の考えに触れる機会も多く、参考になることが多いです。関わる人が多い分、日常のちょっとした場面に学ぶべきことが多くあるのも大規模校の特徴であると感じています。

↑（２学年宿泊研修の出発式の様子。２学年の人数が多く、前任校の全校生徒とほぼ同じ人数）

②授業づくりについて

勤務校では、校内研究の一環として全教員が授業公開を行います。同僚である国語を担当している教員から、授業後に専門的な御意見をいただくことができました。校内で教科の専門的な内容について、気軽に意見交流ができるのも大規模校の特徴であると感じています。

また、１０月には勤務校で市の教育研究会が開かれ、約１５０人が授業参観・協議に訪れました。市内だけでも数多くの教員がいるので、今後も交流を通して様々なことを学ぶことができると期待しています。

（校内授業研。同僚の国語教師に参観していただく。）↑

〇その他

転勤して当初は、前任校との違いもあり、なかなか慣れないことも多かったです。ですが、今では仕事の方も軌道にのって、少し自信がついてきました。まだまだ授業など上手くいかず、落ち込むこともありますが、これからも、オホーツク管内に戻ったときに、多くのことを届けられるように努力を続けていこうと思います。

現任校	旭川市立永山中学校　（前任校）　北見市立東相内中学校	氏　名	藤田　秀平

○地域・学校のようす

旭川市は人口約３５万人の，北海道第２の都市です。私が勤務している旭川市立永山中学校は，１０月現在で生徒５４９名（１年：５学級，２年：６学級，３年：５学級，特別支援：２学級，計１６学級＋２学級）の大規模校です。生徒は元気で，穏やかな性格の子どもが多く，校則を守ろうとする意識も高いと感じています。また，PTAによる活動も活発で，協力的な家庭が多く，ありがたく感じています。

○勤務状況

・担　当　学　年：２学年（担任）
・校　務　分　掌：保健体育部
・部　　活　　動：男子バレーボール部(顧問)
・担　当　教　科：２学年理科(３クラス)
　　３学年理科(１クラス)

現在，２年２組の学級担任をしています。１年からの持ち上がりではなく，途中から学年に所属することになったため，不安が大きい上でのスタートとなりました。しかし，比較的早い段階で生徒の明るさに助けられてスタートをきることができ，今では毎日が非常に充実しています。

部活動は男子バレーボールを担当しています。前任校では，女子バレーを担当していました。男子は動きが全く違い，当初は戸惑いましたが，自分の経験を少しでも指導に生かせられればと日々考えながら，指導に携わってきました。

また，職員室は４０名を超える大所帯であるため活気にあふれ，ベテランの先生方から日々ご指導いただくことができる環境です。

○生活の状況

生活に不便ということは全くなく，むしろ大概のものは市内でそろえることができるため，恵まれた条件で生活することができています。永山は旭川市の中でも特に栄えている地区であるため，生活の便はもちろんですが，理科の教材を集める上でも非常に良い条件です。

北見もそうでしたが，盆地であるため寒暖の差が激しいです。ただ，今年の夏はそこまで気温が高い日が続いた印象はありませんでした。これから冬に入りますが，雪が非常に多い地域であるため，北見とはまた違った，除雪三昧の冬になるのかと予想しています。

○その他

旭川に来てから半年が経過しましたが，現段階でも北見にいたころとの「教育の違い」を日々感じています。何が正しいという事ではないのですが，自分の中でしっかりと吟味して，自分なりの理想の教師像に近づけていきたいと思っています。また，人から学んだことをそのまま使うのではなく，自分のものにし，生徒に一つでも多くのことを伝えられるよう，努めていきます。

旭川に勤める３年間で少しでも教員として成長できるよう，日々研修に励み，オホーツクに戻った後の教育に役立てていきたいです。

現任校	斜里町立知床ウトロ学校　　（前任校）函館市立凌雲中学校	氏名	三浦　範喜

○地域・学校の様子

斜里町は，北海道東部，オホーツク海に面した農業，漁業，観光業のまちです。年間約 150 万人の観光客が訪れ，観光の中心であるウトロ地区には多くの温泉宿があります。そこから車で 20 分ほどの知床五湖では遊歩道が整備され，世界自然遺産となった知床の自然を身近に見ることができます。

知床ウトロ学校は，全校児童生徒が７４名の小さな学校です。子どもたちは明るく素直で，日々の学習や学校行事等を意欲的に取り組んでいます。平成 28 年度から義務教育学校となり，前期６年・後期３年の課程を保ちつつ，「４―３―２」の３ブロック制を取り入れています。教員は各ブロックに配属され，小学校・中学校の枠を越えて子どもたちの指導にあたっています。今年度は，１年生から９年生までの系統的な指導計画を整備し，教科としての「英語」の授業を行っています。さらに，コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し，地域とともに歩む学校を目指しているところです。

○現任校での勤務状況

分掌は教科指導部に所属し，主に儀式的行事や年 10 回ある土曜授業の企画・推進を担当しております。現任校では３年生から段階的に教科担任制が導入され，授業は後期課程（７～９年生）と前期課程６年生の社会科を担当しています。担当学年は１－４ブロックの副担任です。

授業以外では，１～４年生の担任が出張等で不在の際に補欠授業に入ったり，子どもたちが毎日提出する家庭学習ノートの点検，そして給食時間には各教室に入り，一緒に食べています。運動会や学校祭などの行事では子どもたちとともに練習をしています。これまで中学校の勤務でしたので，赴任当初は同じ校舎に小学生がいる様子に不思議な感覚をもちました。職員室では座席の関係で前期課程の先生と話をすることが多いのですが，話の中で新たなことに気付かされます。また，前期課程の先生方のきめ細かい指導や子どもたちへの声かけの様子を見ていて，とても勉強になります。

○生活の状況

ウトロ地区には商店やコンビニなどもあり，生活する上でそれほど不便を感じません。北見まで車で約２時間，網走まで約１時間 20 分で行けますので，何か足りないものがあれば買いに行くことができます。ただ，暴風雨や暴風雪で年に数度，道路が通行止めになることがあるので，これから冬に向けて運転には十分注意したいと思います。

○最後に

新卒から８年間オホーツク管内の学校に勤務し，この度広域人事で再びオホーツク管内に来ました。職員の平均年齢が 30 代前半と若く，新卒２校目の先生が多いです。職場は活気があり，先生方は新しいことに挑戦する意欲にあふれています。そうした中で，自分の立ち位置や果たすべき役割について常々考えています。これから３年間，これまでの経験を少しでも若い先生方に伝え，サポートできるよう頑張っていきたいと思います。

現在校	帯広市立柏小学校　　（前任校）　別海町立中春別小学校	氏名	竹ヶ原　礼子

○地域の様子

帯広市立柏小学校は，帯広の中心部のやや東部に位置し，東は清流・札内川，西は大通り(国道２３６号線)，南はＪＲ根室本線，北は電信通りに囲まれた閑静な地域にあります。多くの官公庁や，商社・企業に関連する住宅も多いため，全国各地から保護者の転勤に伴い，転出入する児童が多いのも本校の特徴の一つです。

全校児童数は，約４３０名ほどで，１６学級で編制されています。地域住民や保護者は大変教育熱心で，学校教育に対しては非常に協力的であり，ＰＴＡ活動やボランティア活動も盛んです。

○現任校での勤務状況

広域人事により異動してきた今年度は，５年２組３４名を担任しています。分掌は，研修部に所属し，公開研に向けての業務や，帯広教育研究会の案内，参加集約などの取りまとめを担当しています。

子どもたちのいいところも苦手なところも認め合って協力していけるよう，学級テーマを『５－２ Blend(ブレンド)』とし，日々の学級経営に取り組んでいます。本校の今年度の重点となっている『やれば、できる！』を合言葉に，運動会や宿泊学習，学芸会など様々なことに学級や学年で一致団結して取り組んできました。

授業の中でも，『みんながわかる、みんなでわかる』授業づくりを目指し，学習形態の工夫を行い，構造的な板書となるよう，日々研鑽しています。

本校で，はじめての学年団を経験し，先輩の先生と組ませていただき，学級経営や新しい知識，様々な指導方法などを学ばせていただいています。はじめて担当する学年で不安でしたが教材研究や準備なども学年で相談しながら進めることができるので，安心して授業に臨むことができています。

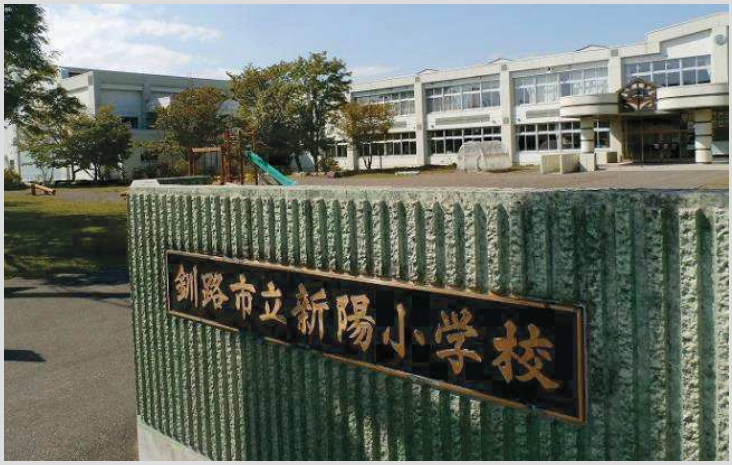
○生活の状況

通勤は車で１５分程です。店も多く，買い物をするのに，とても便利です。はじめての土地なので，人との会話の中でまだまだ知らない地名や場所がたくさんあり，少しづつ覚えているところです。食べ物がおいしいお店がたくさんあり，よく職員室の先生方におすすめの店を教えていただき，発掘している最中です。

○その他

今まで経験したことのない規模の学校に勤務することで，戸惑うことも多くありますが，そんな中でもたくさんの子どもたちや保護者の方，先生方と関わらせていただき，やり甲斐を感じ，熱意をもって仕事をすることができています。広域人事により，他管の教育に触れることができるのは，とても貴重な経験だと思います。自分が今までもっていなかった様々な見方や，考え方を学ぶこともあり，新たに学べることで充実した日々を過ごすことができています。前任校では，一人ひとりへの関わりを多くもつことでいろいろなことを学ばせていただきました。この３年間は，前任校ではなかなか経験できなかった『集団で学ぶよさ』の指導を中心に学び，さらに教師として成長し，子どもたちに還元していきたいです。

現任校	釧路市立新陽小学校　（前任校）　別海町立別海中央小学校	氏名	郡山　亮太



○地域・学校の様子

釧路市は、北海道の東部、太平洋に面した人口１７万人のまちです。道東における政治経済の中心地である一方、阿寒摩周国立公園と釧路湿原国立公園を市域に有する自然豊かな場所でもあります。

私の勤務している釧路市立新陽小学校は、全校児童１１１名の学校です。全学年単学級で、特別支援学級が４クラスあります。教職員は、ベテランと若手がうまく融合し、職員室内も明るく、管理職も、職員との対話を重視し、若手の職員にとって働きやすい職場であると感じています。毎週火・木に朝の１５分間を利用して行う朝学習には、管理職も教室に入り、学校全体で学力向上に取り組んでいます。学校周辺には複数の公園があり、放課後は、児童の元気な声が響き渡っています。少年団活動は、金管同好会があり、２２名が在籍し、市内のお祭りなどに積極的に参加しています。

○現任校での勤務状況

今年度は赴任１年目で、４・５・６年の情緒学級を担当しています。分掌は保健体育部です。前任校は、私より年齢の若い先生方も多かったのですが、新陽小学校はベテランの先生方が多いので、学習指導や生徒指導など日々勉強させて頂いています。また、校外学習等の引率にも多く同行することができ、この半年間で、釧路市内の公共施設をたくさん知ることができました。

○生活の様子

住宅のすぐ近くには大型ショッピングモールがあり、生活するにあたって大きな不便を感じることはありません。飲食店も多く、医療機関も充実しており、とても快適に過ごしています。まだまだ学校や住宅の周辺くらいしか知らないので、休日には車で市内を走っていろいろ見てまわっています。

○その他

通常の人事異動でも新しい学校の文化や習慣に触れることができますが、この広域人事では、今まで当たり前だと感じていた日常の実践に、大きな変化を与えてくれました。釧路管内の良いところをたくさん学び、新陽小学校の児童に還元するとともに、根室に帰ってもしっかりと実践できるように、研修に励んでいきたいと思います。

現任校	厚岸町立厚岸小学校　（前任校）別海町立上西春別小学校	氏名	菊地　貴大

○地域・学校の様子

厚岸町の地域の環境はスーパーやデパートなど利便性のある商店や厚岸湖からつながる自然豊かな海、街中を歩くエゾシカの姿などの自然溢れる様々な街並みが見られます。厚岸牡蠣祭りで有名な牡蠣はもちろん、あさりや昆布、さけや魚などの漁業が盛んです。風景や街並み、漁師町ならではの伝統行事やお祭りとそれらの文化を支える地域・保護者の方々の大らかな人柄も特色の一つとなっています。

また、水産が主産業となる地域で勤務することで、私自身の児童の将来に関しての見地を広げることにもつながっています。地域や保護者の方々の雰囲気も教育に理解をしてくださり、地域の伝統的な行事や慣習を引きついでほしい保護者の願い・それを受け継ぐ児童の思いなど、地域や保護者との連携がとれる漁師町の良さを感じています。

地域の教育的な特徴としては、小学校・中学校・高等学校で連携をとり、各校での学習指導や学級経営、キャリア教育など将来を見据えた教育活動に取り組んでいます。

［高学年の児童が参加する厚岸町市中パレード］

○現任校での勤務状況

今年度は異学年１３名からなる通級指導教室担当として、個別の学習や支援が必要となる児童に指導を行っています。複数の学年を通した指導から、学年の系統性や支援方法を学ぶ機会となっています。

分掌は保体部を担当しており、地域の方々や諸先輩にご協力いただきながら運動会や遠足などの行事、体力テストに向けた取り組みなどの指導を行っています。特に厚岸町では学力のみならず体力アップのための対策を多く取り入れています。体育専科の教諭とも連携を図り、効果的な体育指導を学ぶ機会となっています。

本校の児童数は１４１名で各学年が単学級ですが、各学年ブロックでの結びつきが強く、それぞれの良さを活かした学級経営を行うことができる校風に良さを感じています。また、学校での学習や生活のきまりも統一され、全職員全児童で同じ方向を向いて歩みを進めていけることができ、全校で統一することの重要性を再認識しています。

○その他

残された期間で、多管内での指導方法を身につけ、自身の教師としての資質・能力を磨くために１日１日を成長の場にしていきます。

現任校	羅臼町立春松小学校（前任校）音更町立木野東小学校	氏　名	岩井　洋美

○地域・学校の様子

羅臼町は，世界自然遺産・知床の東側に位置します。内陸側は知床連山，海側は根室海峡に広大な国後島を望む，雄大な自然に囲まれた町です。町の産業は漁業であり，羅臼昆布をはじめスケトウダラやキチジなど様々な魚が捕れます。また夏には，観光船からクジラ・シャチ・イルカが見られ，冬には流氷と野鳥観察を楽しむことができます。

町内には幼稚園 2 校，小学校 2 校，中学校 2 校，高校 1 校があります。幼稚園から高校までの一貫教育として，地域の学びを深める知床学やクマ学習，町内のゴミ拾い活動に指導法研究会など，各校と連携を取りながら活動することもあります。

羅臼町立春松小学校は，開校 115 年目を迎える小学校で全校児童が 100 人います。子どもたちは，素直で明るく，掃除がとても上手です。これは，縦割り活動の中で，代々高学年が手本となり下級生に清掃の仕方を教えてきた春松小学校のよき伝統だと感じています。

○現任校での勤務状況等

今年度は，17 名の 5 年生学級を担任しています。単学級ということで，学習の進度や進め方で心細く思うこともありますが，校長先生・教頭先生をはじめ温かい職場の雰囲気のため気軽に相談できる環境であることをありがたく思っています。子どもたちは，元気いっぱいで予想外の動きにびっくりすることもありますが，幼い頃から一緒に育ち気心の知れた仲間とのびのび過ごしています。

校務分掌は，教務部で主に図書館を担当しています。児童会活動を通して子どもたちの希望を聞きながら購入図書の選書をしたり，町の司書さんと連携しながら読み聞かせ活動を行っています。

○生活の状況

スーパーが近くにありません。その代わり、ドラッグストアやホームセンターに食料品が充実しています。また毎年吹雪のため，家から出られないこともしばしばあるそうで，食料の備蓄は欠かせないようです。

また，学校のすぐそばで鹿が出産していたり，熊の目撃情報があるなど自然豊かな地域です。

○その他

広域人事で根室管内に赴任して１年目。まだまだ学ぶことも多く日々の生活で精一杯の状況です。この度の異動で一番強く感じているのは，人の温かさでした。沢山の人に助けていただいていることに感謝をしています。これからも地域を知り，学校や地域の力になれるよう学んでいきたいと思っています。